



ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第40号

平成28年5月6日発行

さ ょ う



笑顔いっぱい

もくじ

- ・平成28年度予算決まる
一般会計128億9843万円 前年比1.9%減2
予算特別委員会で審査 活発に議論4
- ・第70回定例会
町有財産の利活用策は！
事業者に無償貸付（5年間）8
- ・一般質問 9人の議員が斬りこむ13
- ・第4回議会報告会を開催します裏表紙

3月定例会

前年比1.9%減

情報発信により交流人口増加が図れるか

主な新規事業

- クレジット納税導入経費 350万円
- 南光地域保育園 通園バス購入 820万円
- 三日月保育園大規模改修設計 370万円
- 自然観察村オートサイト電源設備 226万円
- 上月体育館照明LED化 3500万円 など

一般会計の主な事業
定住対策に2263万円
「定住促進コーディネーター」に採用、情報発信を強化。

西法寺（たつの市）にある三日月藩の表門を移築・復元。
学校大規模改造に1億3千万円
三日月小大規模改造と
上月小エレベーター設置。

・人口減少抑制施策本腰いれる ・地域おこし協力隊の拡充（5人体制）

平成28年度予算は、一般会計128億9843万円、特別会計合計が82億4888万円、合せて211億4731万円を議決しました。

南光地域保育園建設に6億1812万円
徳久保育園と中安保育園を統合し新園舎を建設。
三日月陣屋跡整備に4760万円

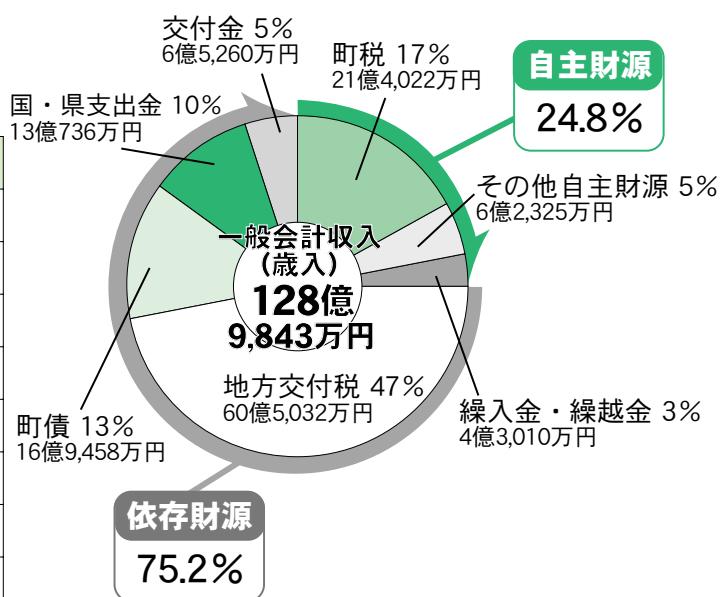
歳入	金額	説明
町 税	21億4022万円	町民の皆さんが納めた税金
その他自主財源	6億2325万円	使用料や手数料など
繰入金・繰越金	4億3010万円	特別会計からのお金
地方交付税	60億5032万円	国が交付するお金
町 債	16億9458万円	国や銀行から借りるお金
国・県支出金	13億736万円	国・県からの補助金
交 付 金	6億5260万円	地方消費税など国が交付するお金
計	128億9843万円	

3月議会定例会は、3月4日から25日までの22日間の会期で開かれました。議案は、公共施設の指定管理、学校等跡地の無償貸付、国保税の改定、補正予算、平成28年度予算、同意案件など計91案件が提出されすべて原案のとおり可決されました。平成28年度予算は、予算特別委員会を設置して2日間にわたり審査しました。

一般質問には、9人の議員が人口対策や農業、観光、公共施設活用問題などを取り上げ、町政をただしました。

最終日には、議員発議の台風9号災害復旧・復興対策特別委員会及び学校・保育園規模適正化調査特別委員会の廃止を決議しました。

3月議会定例会



平成28年度
予算決まる

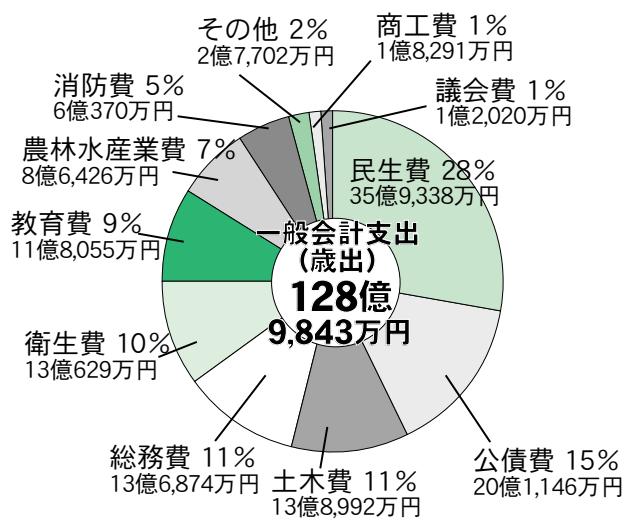
128億9843万円

子どもたちの未来へ
投資は十分か



中学3年生を対象にインフルエンザ予防接種の助成を決定（三日月中学校入学式）

歳出	金額	説明
民生費	35億9338万円	高齢者福祉や、保育園、児童手当など
公債費	20億1146万円	町債の返済
土木費	13億8992万円	道路や河川、住宅の整備など
総務費	13億6874万円	庁舎管理やまちづくりの推進など
衛生費	13億629万円	予防接種、検診、ごみ処理など
教育費	11億8055万円	給食、小中学校・スポーツ施設の管理費など
農林水産業費	8億6426万円	農林業の振興など
消防費	6億370万円	消防施設整備補助金、防災訓練補助金など
その他	2億7702万円	諸支出金、予備費
商工費	1億8291万円	商工業振興など
議会費	1億2020万円	議員報酬、議会だより発行など
計	128億9843万円	



平成28年度予算審議 活発に議論



みんなのお金 どう活かすか？

けをすべきではないのか。上士幌町はPPOが上手いのは確かだ。地域をこし協力隊などの情報発信分野の専門員を採用し力を入れたい。

問 定住対策として田舎体験事業は次年度も実施するのか。また、町内のNPO等団体と連携する予定は。

答 本年度の反省を踏まえ委託先是検討する。町

答 町営住宅もこの二つ
の調査に入るのか。
問 町営住宅は空き家が
増えている。老朽化した
空き家は廃止し、若い人
も入居できる住宅を駅周
辺に建設するための調査
だ。
問 三土中学校の解体費
が1億2千万円あがつて
いる。新しくできた公共
施設最適化事業債は使わ
ないのか。

答 職員は地域づくり協議会だけの仕事をしているのでなく、地域づくりは自らの手でしていただきたい。人件費がかかりて事業ができないというものは、できるだけ支援もしていきたい。

問 老朽危険空き家除去支援事業補助金とは。

答 老朽危険空き家とし

▲ 健康ウォーキング

答 起債の元金償還部分
が増えたため。なお、佐
用町は分別が行き届いて
おりゴミの量が年々減っ
ている。その部分では負
担金は減っている。
農林水産業費
問 佐用町の農業は大多
数が兼業農家、高齢化に
よる離農、農地の荒廃等
その対策は。

予算特別委員会	副委員長	委員長	竹内日出夫
一般会計			
問 ふるさと納税で、北海道の上士幌町は人口5千人の小さい町だが、年間15億円の寄附がある。	内に移住されている個人や団体とはさらに連携を密にしていきたい。	答 佐用町からの通勤・通学者を増やすため、町	
問 定住マンション建設調査業務とは。			

問 埼玉県の固定化に対する取り組み
制度は5年を迎える。活動内容の精査と見直しが必要では。
答 事業は毎年ヒアリングを行っている。固定化していくにといひもあるが、センター長と協議しながら進めたい。

分の2を国・県・町で担する。
城を組み込んで。担する。
集客イベントに利
用する。
ハイキングやサイ
クリングのイベントを考
えていたが、利神城をコ
スに入れるかどうかは
討中である。

人の研修が難しくなったため。自治会長会ではやむを得ないとの判断だった。

新年度予算については、議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、3月7日・8日に審議しました。質疑の中から、主なものをご紹介します。

答　この起債は公共施設等総合管理計画の策定が前提であり、佐用町は策定に着手している。

て町長から助言または導を受けた住宅が対象
通行人や近隣への影響
良好な景観、住環境の

答 選挙投票所を統合する理由は。また、自治会長会での反応は。

答 平成27年度、中山間直接支払は3集落減少、新規が1集落の状況。町単独事業では認定農業者へ10アール1万円、そのほかは7千円の制度も設け対応している。	問 地域おこし協力隊の農業分野での応募は。答 農業、林業には各1人を採用。
問 新ストップ補助金は誰もが使えるものでない。答 木材活用計画の中にも位置づけているもので、森林資源、自然エネルギーを見直すきっかけとしていただきたい。	問 薪ストップ補助金は誰もが使えるものでない。答 木材活用計画の中にも位置づけているもので、森林資源、自然エネルギーを見直すきっかけとしていただきたい。
問 有害鳥獣駆除活動補助金で無線機購入補助とは。	問 有害鳥獣駆除活動補助金で無線機購入補助とは。
問 商工費	問 商工費
問 教育費	問 教育費
問 表門の移築・復元による活動か。予算が	問 表門の移築・復元による活動か。予算が



▲ 西法寺（たつの市）の表門

会とも協議し考えたい。

定額化しているのでは。いるが、三日月陣屋全体の整備計画はあるのか。

4200万円を計上しているが、三日月陣屋全体の整備計画はあるのか。

経年劣化と更新時の母体へ報告されている。

施している。

商工会青年部、女性部への助成金で、地鷄やジビ工の調査研究、試食会や講習会の実施、パンフレット作成、先進地視察研修費など。

表門は現存する数少ない遺構であり、保存していくたい。全体計画は三日月陣屋保存整備委員会

会とも協議し考えたい。

メガソーラー事業

予防事業の内容は。

利神城はピューポイントを設置することでさりに観光客が増える。入山規制解除の見通しは。安全が確保されるルートが設定できた段階だ。

表門は現存する数少ない遺構であり、保存していくたい。全体計画は三日月陣屋保存整備委員会

メガソーラー事業

災害に対しても保険に加入し、更新時のパネル処分費は最終年に5%を積み立てる。

初期段階の体制であり、ようすを見る。

有限責任事業組合の公開性は。

メガソーラー事業

災害に対しても保険に加入し、更新時のパネル処分費は最終年に5%を積み立てる。

初期段階の体制であり、ようすを見る。

認知症初期集中支援チーム3人では少ない。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

商工費

商工費

商工費

商工費

商工費

教育費

教育費

教育費

教育費

教育費

表門の移築・復元による活動か。予算が

消防費

消防費

消防費

消防費

消防費

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

商工費

商工費

商工費

商工費

商工費

教育費

教育費

教育費

教育費

教育費

表門の移築・復元による活動か。予算が

表門の移築・復元による活動か。予算が

表門の移築・復元による活動か。予算が

表門の移築・復元による活動か。予算が

表門の移築・復元による活動か。予算が

消防費

消防費

消防費

消防費

消防費

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

消防費

消防費

消防費

消防費

消防費

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

消防費

消防費

消防費

消防費

消防費

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

消防費

消防費

消防費

消防費

消防費

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

西はりま消防組合議会で協議する。

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

後期高齢者医療

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

健康増進についての取組みは。

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

特定健診に併せて実

消防費

消防費

消防費

消防費

消防費

播磨科学公園都市消防業務のその後の進展は。

播磨科学公園都市消防業務のその後の

反対



平岡きぬゑ

賛成



小林 裕和

町民の暮らしを応援する手立てが不十分だ

新たに中学3年生までを対象にしたインフルエンザ予防接種費の助成。地域おこし協力隊、老朽危険空き屋対策などは一定評価できるが、基金の貯め込みと第3次町行財政改革に基づき住民の利便性やサービスの切り捨ては問題だ。

産業振興推进のため、中小企業振興条例の制定をするべきだ。
住民負担軽減、暮らし応援、農林商工業振興に対する不十分な予算であり反対する。

まちへ夢みる予算であり、住民一人一人に応える執行を!

まちの将来の夢、次世代農業のモデル施策、地域おこし協力隊の拡充、人口減少対策の定住・雇用創出施策、歴史的資源の活用、予防接種の拡充等々、各分野施策の取捨選択で、一般会計予算案は策定されており、評価ができるものだ。

しかしながら、町税・交付税等、歳入は依然厳しい状況であり、行財政改革の推進と、施策の見直し再検討で、健全な財政運営と硬直しない行政施策の推進を期待し、住民一人一人に応える予算執行を望み賛成討論とする。

世帯当たり8114円の引き上げは認められない

保険税を8%（世帯あたり8114円）引き上げる提案は認められない。滞納額が年々増加している。払える国保税にしていくためには、国庫負担割合を1984年の水準に回復する必要がある。

また、国の保険者支援金は、一般会計繰り入れの軽減に使うのではなく高すぎる保険税の引き下げに使うべきだ。

一般会計から740万円を繰り入れ、加入者の負担軽減を評価する

医療費高騰により、前年比較で2%増の予算となっているが、国保税率改定分では住民負担を考慮したため2200万円の增收しか見込めない。

このため、国保運営に不足する額を一般会計から法定外繰入として7400万円を行い、加入者の負担軽減を図っている本予算は適正なものである。

保険料694円の引き上げは高齢者の生活に影響する

反対の理由は保険料を引き上げたことだ。後期高齢者保険料は28.29年度分、均等割り額を年額で4万7603円より694円引き上げ4万8297円に、所得割率を9.70%より0.47%イント引き上げ10.17%にした。

年金の引き下げ、消費税率の引き上げなど高齢者にとって生活がますます苦しくなる下で、保険料は引き上げではなく引き下げこそ必要だ。

低所得者軽減実施で1人当たりの保険料額は減額見込み

この制度の運営は広域連合と各市町村で行っており、保険料も県下統一保険料である。

平成28・29年度の保険料は増加しているが、低所得者軽減を拡充するなど、1人当たりの平均保険料額は減額が見込まれる。

以上のことから、加入者が安心して安定的に医療を受けることができる予算となつており賛成する。

反対



平岡きぬゑ

賛成



石堂 基

反対



金谷 英志

賛成



加古原瑞樹

討論

平成28年度予算

私は賛成です

介護保険

反対



平岡きぬゑ

賛成



千種 和英

繰入を増やし保険料
を軽減すべきだ

平成27年度から29年度
までの第6期で、町の介
護保険料は月額5600
円。期を経るごとに保険
料が高騰している。

一方介護給付は、抑制
する内容であり介護難民
を産むことになり問題だ。
きた。

介護保険料軽減のため
に町は一般会計からの繰
り入れを決断し軽減すべ
きだ。

加えて、いきいき10
〇歳体操や、頭の体操普
及推進予算も盛り込み、
積極的な予防への取組等、
評価できる予算であり賛
成する。

一般会計からの繰り
入れでの負担軽減や、
積極的な予防への配
慮を評価する

人口の8・6%、15
〇〇人が介護・支援が必
要である。その方が安
心してサービスを受けら
れるよう、不足額は一般
会計からの繰り入れで補つ
てている。また低所得者保
険料軽減繰入等の配慮も
見られる。

平成28年度当初予算額と採決結果

(単位：万円)

会 計	新年度予算額	対前年度伸び率	採決結果
一般会計	128億9,843	△1.9%	賛成多数 可決 (反対 金谷英志、平岡きぬゑ)
特 別 会 計	メガソーラー事業収入	5,910	△7.0% 全員賛成
	国民健康保険	26億9,144	2.2% 賛成多数 可決 (反対 金谷英志、平岡きぬゑ)
	後期高齢者医療	3億230	0.9% 賛成多数 可決 (反対 金谷英志、平岡きぬゑ)
	介護保険（事業勘定）	22億7,830	△0.1% 賛成多数 可決 (反対 金谷英志、平岡きぬゑ)
	介護保険（サービス事業勘定）	1,090	1.8%
	朝霧園	1億2,683	△1.2% 全員賛成 可決
	簡易水道事業	6億3,153	△21.9% 全員賛成 可決
	特定環境保全公共下水道事業	8億5,071	0.7% 全員賛成 可決
	生活排水処理事業	4億4,786	△0.1% 全員賛成 可決
	西はりま天文台公園	1億723	3.2% 全員賛成 可決
	笹ヶ丘荘	1億4,321	13.8% 全員賛成 可決
	歯科保健	2,511	△4.9% 全員賛成 可決
	宅地造成事業	2,401	0.2% 全員賛成 可決
	農業共済事業	1億1,906	6.4% 全員賛成 可決
	石井財産区	457	0.2% 全員賛成 可決
特別会計の計		78億2,216	△1.2%
水道事業（支出）	4億2,672	17.6%	全員賛成 可決
総 額	211億4,731	△1.3%	

貸付(5年間)



結果 全員賛成 可決

赤竹工房は、たつの市の工房を江川へ移し、地域との交流や活性化を目的とした作品展示室の開設、レザーカラフト教室および交流イベントなどを計画しています。

また、学校プール等は、現在、申山で発電事業を実施している「佐用・DECメガソーラー有限責任事業組合」に無償貸付します。

学校・保育園規模適正化により廃園となつていた旧江川保育園が、皮革製品の制作・販売を行う「赤竹工房」に無償貸付することが決まりました。

旧江川保育園に皮革工房 学校プールは太陽光発電

議案審議

●町有財産の無償貸付箇所一覧表

施設名	貸付箇所	貸付先	活用内容
旧中安小学校	運動場の一部	(医)社団一葉会	サービス付高齢者向け住宅
旧江川保育園	園舎・運動場	赤竹工房	皮革製品の制作・販売等
旧幕山小学校	プール		
旧中安小学校	プール	佐用・IDECK メガソーラー有限責任事業組合	太陽光発電
上月中学校	運動場の一部		
上月工業団地公園	テニスコート		
おねみ滝谷オートキャンプ村	土地・建物	(一財)大阪市青少年活動協会	キャンプ場

結果 全員賛成 可決

問 別けるが職員の充実は、保健師1人を採用します。



▲赤竹工房と地域の皆さん

■ 福祉施策と、社会教育の充実を目指す!
(総務委員会付託)
行政機構の改編で、健康福祉課を高年福祉、介護保険、地域包括支援の「高年介護課」と、地域福祉、健康増進、子育て支援の「健康福祉課」に分課する。また、社会教育と生涯学習の連携強化のために、生涯学習課を教育委員会所管とする。

■ 税条例の一部改正 (総務委員会付託)
答 問 改正の影響は。
申請に基づく換価の猶予制度創設など、納税者の負担軽減が図られる。

■ 非常勤特別職の報酬改正 (総務委員会付託)
答 問 単価決定の根拠は、他業務との整合性を図った。産業医は新たにストレスチェック業務が増えるため増額した。
結果 全員賛成 可決

佐用町の1人当たりの医療費と県内の順位

1人当たり 医療費	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	363千円	368千円	386千円	380千円	374千円	394千円	412千円
1位	佐用町	佐用町	佐用町	赤穂市	相生市	赤穂市	佐用町
2位	赤穂市	赤穂市	赤穂市	相生市	赤穂市	佐用町	赤穂市
3位	上郡町	神河町	相生市	佐用町	上郡町	上郡町	相生市
4位	神河町	相生市	上郡町	稻美町	佐用町	相生市	稻美町
5位	朝来市	上郡町	稻美町	上郡町	稻美町	養父市	丹波市
:							
41位	宍粟市	多可町	豊岡市	豊岡市	豊岡市	豊岡市	豊岡市



▲H27特定健診のようす

国保

医療費県下で最高
保険税増額やむなし

国民健康保険税条例の改正

(産業厚生委員会付託)

国の税制改正に伴い課税限度額および軽減判定所得が引き上げられ、税負担の軽減が図られました。一方、佐用町は一人当たりの医療費が県下で最も高い反面、保険税収入は県下で38番目(平成26年度)と低く、毎年一般会計からの繰入金で会計を維持している現状から、保険税率が約8%引き上げられました。

減免申請の状況は。

本年度は10世帯の申請がある。

税率改正の増額は。

約2200万円。 繰入金の推移は。

最高は平成23年度の
1億円超、平成26年度は
約8千万円。

結果・賛成多数 可決
▲H27特定健診のようす

反対討論

平岡きぬゑ 議員

国保税率を平均8%

(世帯あたり8114円)

引き上げる提案は認められない。

国は、平成27年度補正予算で保険者支援として、佐用町には1958万1千円・被保険者一人当たり約5千円の支援金を交付している。国の支援金を活用すれば、国保税の引き上げは必要ない。

賛成討論

岡本安夫 議員

若干の限度額の引き上げがあるものの、中間所得層には一定の配慮がされている。納税者には急激な負担増にならないよう法定外繰り入れを行うなど、健全財政の維持と納税者の立場のせめぎ合いの中でなされたものである。引き続き健全財政の維持と疾病予防に努めることを願い賛成する。

結果・賛成多数 可決
▲H27特定健診のようす

反対討論

金谷英志 議員

協定では、たつの市に機能が集約され、連携想

定事業案では、「サッカー合宿等の誘致」をあげて

いるが、光都サッカーフィールドなど周辺施設に影響しないか。

定住自立圏形成に関する協定の締結

定住自立圏を形成するために、国の「定住自立圏構想推進要綱」に基づき、中心市のたつの市と協定を締結するもので、穴粟市、上郡町も参加し2市2町で形成します。

この協定は、相互に役割を分担し連携を図りながら、定住に必要な都市機能を確保し、充実させるとともに、住民が郷土への誇りと自信を持ち、安心して暮らせる魅力あふれる定住自立圏を形成することを目的としています。

協定のメリットは、企業庁の計画が既存施設へ与える影響が懸念される中で、広域に参加する町長のスタンスは、

企業庁は播磨科学公園都市の成熟を目指して生

設置するものだが、周辺市町が連携することで広域的な振興発展につなげていきたい。

この協定は、総務省が定める定住自立圏構想推進要綱に基づくもので、たつの市を中心として生

活性機能の強化やネットワーク強化、圏域マネジメント能力の向上を図るために協定であり、本町が有する地域施設に影響を及ぼすことではなく、広域連携から生まれる魅力ある自立圏づくりに期待がもてるため賛成である。

結果・賛成多数 可決
▲H27特定健診のようす

佐用町の立場を主張すべき

カーレンタリード

笥ヶ丘荘や味わいの里三日月など周辺施設に影響しないか。

企業庁は、合宿場の利用者数を現在のサッカーフィールド数とは別枠で見込んでいる。道の駅は県下

カーレンタリード 笥ヶ丘荘や味わいの里三日月など周辺施設に影響しないか。

企業は味わいの里三日月の経営にとってマイナスだ。本町にとってメリットよりもデメリットが大きい。

企業は味わいの里三日月の経営にとってマイナスだ。本町にとってメリッ

トよりもデメリットが大

きい。

周辺施設とは役割分担ができると考えている。

企業庁の計画が既存施設へ与える影響が懸念される中で、広域に参加する町長のスタンスは、

企業庁は播磨科学公園都市の成熟を目指して生

設置するものだが、周辺市町が連携することで広域的な振興発展につなげたい。

この協定は、総務省が定める定住自立圏構想推進要綱に基づくもので、たつの市を中心として生

活性機能の強化やネットワーク強化、圏域マネジメント能力の向上を図るために協定であり、本町が有する地域施設に影響を及ぼすことではなく、広域連携から生まれる魅力ある自立圏づくりに期待がもてるため賛成である。

結果・賛成多数 可決
▲H27特定健診のようす

反対討論

金谷英志 議員

協定では、たつの市に機能が集約され、連携想

定事業案では、「サッカーレンタリード 笥ヶ丘荘や味わいの里三日月など周辺施設に影響しないか。

企業は味わいの里三日月の経営にとってマイナスだ。本町にとってメリットよりもデメリットが大きい。

公共施設 17カ所を指定管理へ

めざせ！ 地域とともに健全運営

●指定管理者一覧表

施設名	指定管理者
南光ひまわりの郷ふれあいセンター	町商工会
佐用町南光地域福祉センター	(福)町社会福祉協議会
佐用町長谷地域交流センター	長谷地域づくり協議会
久崎老人福祉センター	(福)町社会福祉協議会
三日月福祉拠点施設（ほっとちゃん）	南広自治会
道の駅宿場町ひらふく	(株)道の駅平福
上月農産物処理加工施設、 上月地域特産物直売所	(有)心れあいの里上月
南光ひまわり館	南光ひまわり館加工グループ
味わいの里三日月	農事組合法人 三日月特産加工組合
佐用町棚田交流施設	乙大木谷自治会
田和棚田交流施設	田和自治会
西新宿花しょうぶ園交流施設	西新宿自治会
佐用町土づくりセンター	兵庫西農業協同組合
三日月木工加工施設	テノン合同会社
みどりの健康舎ゆう・あい・いしい	(有)ゆう・あい・いしい
佐用町昆虫館	NPO法人こどもとむしの会
佐用町立平福郷土館	平福地域づくり協議会

指定期間の終了に伴い、平成28年4月1日から5年間の指定管理を委任するもので、全ての施設で現在の管理者に継続することと決定しました。それぞの地域でこの施設を有効活用し、地域活性化につなぐことが求められています。



指定管理者制度とは

公の施設の管理運営を民間に委ね、民間のノウハウを生かした柔軟な施設運営により住民サービスの向上につなげるとともに、経費の削減を図ることを目的に、議会の議決を得て指定管理者へ委任するものです。

河川改修等に伴い、町道17路線の起終点等を変更
(産業厚生委員会付託)

今回の町道路線変更は、佐用地域にある吉福山田線など17路線で、佐用川・千種川河川改修事業により起点または終点が変更されるものと、平福地区の歩道整備により終点が変更されたものです。なお、中安102号線は、地元要望により新たに町道認定され、安全施設整備も行われます。



▲ 上河原船着線の調査（久崎）

補正予算

可決

地方創生に向け 加速化交付金を活用しさうに前進

平成27年度補正予算額（歳出）		(単位：千円)
会 計 名	補正額	補正後の額
一般会計	151,973	13,654,019
特別会計	メガソーラー事業	2,880
	国民健康保険	11,600
	後期高齢者医療	0
	介護保険（事業勘定）	△ 322
	介護保険（サービス事業勘定）	240
	朝霧園	△ 97
	簡易水道事業	△ 33,849
	特定環境保全公共下水道事業	△ 28,020
	生活排水処理事業	△ 3,464
	西はりま天文台公園	170
特別会計	笹ヶ丘荘	1,451
	歯科保健	△ 1,085
	農業共済事業	115
	水道事業（支出）	△ 40,593
		324,769

3月補正では、国が示す地方創生施策の推進に向け、地域創生人口ビジョン・総合戦略を事業化するため、定例会最終日に加速化交付金8236万5千円が追加補正されました。

これにより、1億総活性社会の実現に向け国との総額を136億540万9千円としました。補正予算に伴う追加事業や、予算整理で一般会計

地方創生加速化交付金の使いみち8236万円

- 学校跡地を活用した次世代農業モデルプラント事業自立支援と就農人材支援2712万円
 - 就農人材育成・研修補助金、佐用高校等研修・実習事業委託料、生産作物研究・開発等委託料、研修・栽培実験棟建設費補助金、加工・販売支援事業委託料
- 観光コラボによる地域農産物の育成・強化と地域資源活用創造プロジェクト3924万円
 - 特産物高付加価値化・販売促進等業務委託料、着地型観光・買い物ツアー等実施委託料、販売拠点施設活用型イベント開催補助金、試験栽培・調査研究等補助金
- 兵庫・鳥取・岡山三県境地域インバウンド推進事業600万円
 - (兵庫・鳥取・岡山三県境地域インバウンド推進事業負担金)
- 国際スポーツ関連産業クラスター構想推進事業1000万円
 - (国際スポーツ関連産業クラスター構想推進事業負担金)

一目でわかる審議結果

3月定例会
提出議案

●賛否の分かれた議案

○賛成 ×反対

※議長(西岡 正)は同数以外採決に加わりません

議 案 名	議員名													採決結果
	加古千種	小林廣利	竹内日出夫	石堂基	岡本義次	金谷英志	山本幹雄	岡本安夫	矢内作夫	石黒永剛	平岡きぬゑ	西岡正		
学校・保育園規模適正化調査委員会を廃止する決議	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	-
特別職(町長・副町長・教育長)の給与(期末手当)改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	-
議会議員の報酬(期末手当)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	-
国民健康保険税条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	-
定住自立圏形成に関する協定の締結	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	-

一般質問



3月16・17日、9人の議員が町政をただしました。

●平岡きぬゑ 議員	14
1 佐用町南光歯科保健センターの運営は	
●廣利 一志 議員	15
1 平福の宿場町の景観形成を原点から考える必要があるのでは	
2 定住・移住促進のための具体的支援策を質す	
●千種 和英 議員	16
1 人口減少社会における人材育成政策は	
2 利神山の国指定後の取組の予定は	
3 農産物直売所の進捗状況は	
●岡本 義次 議員	17
1 獣害対策は	
2 平成28年度予算の重点施策は	
●金谷 英志 議員	18
1 地方財政計画にどう対応するか	
2 「けんこうの里三日月」の活用策は	
3 学校跡地活用事業はどう町振興に結びつくか	
●石堂 基 議員	19
1 次年度における「佐用町森林資源活用計画」の推進	
●岡本 安夫 議員	20
1 創造的復興から新たな挑戦へ	
●竹内 日出夫 議員	21
1 中学3年生全員にピロリ菌検査を	
2 AEDの適正管理と有効活用方策は	
●石黒 永剛 議員	22
1 死語となりつつある「公徳心・社会規範」の中での地域コミュニティそれを支える社会教育地域創生事業への課題とは	

佐用町のこころが聞きたたい
9人の議員が斬りこむ

*記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は後日会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。なお、掲載順は毎回くじ引きで決めています。

平福の町なみ景観保全を条例改正で

町長—地域と協議をしたい



平福の景観を考える
環境審議会

町長 利神城跡、御殿屋敷跡の国指定史跡を先ず
考へている。町なみ保存
については、住んでおら
れる皆さんの意見も聞い
ていきたい。

▲平福の景観形成地区内の太陽光パネル

ひろかが かずし
廣利 一志 議員

問 景観形成地区に、なぜ太陽光パネルが設置されているのか。
町長 条例には強制力がない。26年度には、設置に対する、垣などで景観対策をお願いしたが、了解を得られなかつた。

問 県の条例と町の条例では景観形成地区の範囲に相違はないか。
町長 行為届など提出がされていないので、現時点では確認していない。

問 利神城跡、御殿屋敷跡、宿場町の町なみ3点セツト
町長 新たな支障物は確認していいのか。

問 平福の魅力は3点セツトである。その考えに異論はないか。
町長 る空き家、空き地に対応する空き家、空き地に對応策は。

町長 認識はしているが、条例は30年以上経過し、時代の流れを反映していない。今こそ、条例改正が必要では、當時は想定する

とができるなかつたことが皆さんの意見、お考えをお聞きしていきたい。国指定史跡が決まった後で整備のための基本構想を考えたい。

他に移住、定住促進についての具体的支援策についての質問あり。

問 景観形成地区に、なぜ太陽光パネルが設置されているのか。
町長 条例には強制力がない。26年度には、設置に対する、垣などで景観対策をお願いしたが、了解を得られなかつた。

問 昭和58年に制定の条例では、太陽光パネルも、今のような空き家、空き地の増加も予想しなかつた。不備ではないか。
町長 不備ではないが、時代の流れを反映していないと思う。



人口減少社会での人材育成は

町長——積極的に取り組んでいる



- 問** 職員の人材育成は。
- 町長** 佐用町職員人材育成基本方針を策定し各種研修に取り組んでいる。また、住民と一緒に考える事が大切である。
- 問** 職員からの企画・提案はできるのか。
- 町長** 常に企画・立案は可能である。昨年8月の相談してほしい。支援策があるか、なければその策を考えればよい。
- 問** 住民への支援策（補助金）は考えられないか。
- 町長** 地域づくり協議会
- 問** 利神城跡の国指定後の取組は
- 町長** まずは保存・整備・前準備は。
- 問** 観光産業としての事務の協議会に所属していない団体への支援が無いのでは。
- 町長** 担当課に遠慮なく相談してほしい。支援策を進める。
- 問** 地元における準備は。
- 町長** 本年度は天文台に、28年度中に平福道の駅に、ピューポイントを整備する。また地域やお客様の関心を高めるイベントの開催も検討したい。



▲宿場町でのひなまつり（ギャラリーほっと）



▲農産物直売所予定地

- 問** 徳久バイパス直売所の進捗状況は
- 町長** 企業庁から播磨科学公園都市道の駅構想が示された上での方針は、バイパス工事との同時進行が合理的であるため準備を始めた。地元同様施設からの意見も集約できていない。企業庁の構想も詳細は決まっていない。生産者育成も含め、様々な調整が必要である。
- 問** 現状は様子を見ながらの保留だ、との認識でよいか。
- 町長** その通りである。

町職員にわなでの捕獲を

町長 — 職員は仕事をしておりできない



問 町内いたる所で獣害の柵や網が張りめぐらされている。水稻、野菜、果樹等が食い荒らされ町民は困っている。墓に供えた色花も食べられ、家の花壇や鉢植えの花も食べられ、家の周りにも網が張りめぐらされている。

町長 猪222頭、鹿1288頭。正職員269人中3人、臨時職212人中4人が取っている。

現在、猪鹿を何頭捕獲し、正職員、臨時職は何人おり、何人が資格を取っているのか。

問 毎日鐵砲を持って山へ行けと言つていよい無理で、できない。

町長 日常業務をしておれれば、多く捕まえることができるが。

南光の人も猪と鹿を7頭ずつ捕獲でき効果があった。全員とまで言わないが50人近いおおぜいの2割か1割でも協力してもらえば、多く捕まえることができるが。

住んでよかつた町にと言っているが、人口減少率県下ワーストワンであり、米や野菜、果樹もせつかく作っても食われてしまい、困っており、農業もやる気がなくなり、作ろうとしなくなる。年に7千万円、6千万円も獣害対策に使っている。オール佐用で捕獲しようではないか。



▲設置された箱わな

▲特産物のハウス

おかもと よしつぐ
岡本 義次 議員

町長 28年度予算の重点施策
新年度で力を入れ、町をよくする目玉的なことは何か。

利神城の国指定に向けて、保育園の無料化、情報発信の5分野で佐用の町をよししたい。

交付税見直しで町財政に余裕では



かなたに えいし
金谷 英志 議員



▲合併10年を迎えた本庁舎

町長 交付税需要額は平成27年度ベースで、支所機能分、消防費、清掃費合わせて3億3548万円加算されており、平成

問 合併時点では想定されていなかった財政需要を交付税算定に反映させるとして、交付税算定が見直される。その一は、支所に要する経費の割り増し、次に人口密度等による需要の割り増し、そして、標準団体の面積を見直す。これらのものがこれにより本町の交付税額はどうなるか。

問 合併時想定された交付税は8億増え、人件費が10億減ったということなら財政に余裕があるということではないか。

町長 運営がし易くなつたといえるが、無駄なこと

『けんこうの里』は地元で活用を

『けんこうの里三日月』についてはこれまで私は、トreeningグルムでのインストラクターの配置、機器の充実、風呂については温泉に代わる薬草風呂、休憩室へのマッサージ器の増設などを提案してきた。風呂の閉鎖以来、地元からこの施設を地域の活性化と同



▲地元から活用案が出された『けんこうの里三日月』

副町長 サンホーム三日月からも同施設の利用の提案がされておりこれが主体だが、地元とは、地元でできることは取り入れていてほしいと協議している。

時に町民の健康増進に寄与する施設として活用できないかと再利用計画案が出されている。これにどう応えるのか。

副町長 サンホーム三日月でできる提案がされておりこれが主に、地元とは、地元でできることは取り入れていてほしいと協議している。

森林資源計画の新年度構想は

町長—活動団体や個人の専業化をめざす



いしどう もとい
石堂 基 議員

町長 森林整備に必要な経営計画樹立目標を20%上積みして地域への推進を行なう。また、森林山村多面的事業などの地域活動が長期的に展開できるように、事務的支援や助成制度、技術研修などを検討している。さらに、地域おこし協力隊員を林業分

問 野にも配置して木の駅運営や地域との連携強化に努めたい。

社会実験としてスタートした「木の駅」の運営については、搬入材の荷降し作業が人力だけでは

問 「木の駅」事業の開始や住民参加型森林整備活動の広がりなど、佐用町森林資源活用計画の推進が現実的に実感できるようになってきた。新年度における具体的な計画目標はあるのか。

町長 森林整備に必要な経営計画樹立目標を20%上積みして地域への推進を行なう。また、森林山村多面的事業などの地域活動が長期的に展開できるように、事務的支援や助成制度、技術研修などを検討している。さらに、地域おこし協力隊員を林業分

問 野にも配置して木の駅運営や地域との連携強化に努めたい。

社会実験としてスタートした「木の駅」の運営については、搬入材の荷降し作業が人力だけでは

困難な状況など、まだ課題も多くあるので参加者の意見を取り入れ改善することが重要である。そのためも、関係者との意見交換や計画的な技術講習会が必要とを考えられるが予定されているか。

町長 木の駅については、登録者が33名になり、搬入材も3月末予定で250tを超えなど、予想を大きく上回るいい状況が生まれている。これを継続するためにも指摘内容などを含めて条件整備を行い、活動団体や個人がさ

問 森林資源活用計画では、木材の高度利用も検討されているが、木質バイオとともに話題となっているセルロースナノファイバー(CNF)については検討されているか。

町長 CNFは、木質を化学的加工することにより、重量や強度がこれまでに無いものとなるから、炭素纖維や鉄に変わらぬ次世代の工業原料として注目され、国の支援もあり自動車や航空・製紙関連を中心として活用実験が進められているのに

問 製紙業界では、すでにCNFの量産ラインを計画しているところまである。木材の高度利用構想にぜひ含めて、佐用町木材のサプライチェーンを計画してもらいたい。



▲林業講習会で安全性向上



▲バイオマス発電に林地残材利用

創造的復興から新たな挑戦とは



おかもと やすお
岡本 安夫 議員

町長——産官学連携により次世代農業モデルを創る

問 旧三土中学校跡地に計画されている「DEC」、

佐用高校農業科学科との

产学連携による「次世

代農業事業モデル」は、

佐用町の課題に沿った事

業だと思うが今後の展開

は。

町長 平成28年度早々にモデルプランの建設に着手し、収穫ができるようしたい。

若者が魅力を感じる新しい農業環境を整備し、このモデルを成功させることにより、将来的には町内への横展開を図り、

美作市の旧大原高校跡地への医療系専門学校

誘致が実現すれば、佐用町はどんな協力をするか。

計画どおりの定員が確保されると500人弱の学生が見込まれる。

生徒の住まい提供や医療機関におけるインターン

イントは、斬新な視点を

町づくりに注入していく

だけ、職員に柔軟な

発想の導入、協力隊自身には才能や能力を生かし、た活動や、生きがい・暮らしの発見である。

ある。

新たな特産品としてミツマタに注目しているが。

北部の風倒木の跡地に群生している。昨年から試験的に集荷して

いるが、シカの食害がないので、耕作放棄田畑や山裾に栽培できないか

研究したい。



▲いちごの栽培に挑む青年農業士



▲ハウス栽培中のいちご

中学3年生にピロリ菌検査の導入を問う

町長—今後、検討していく課題である



たけうち ひでお
竹内 日出夫 議員

問 中学3年生にピロリ菌検査を導入することについて、どう考えるか。

町長 日本でピロリ菌に感染している人は、およそ6千万人とも言われており、発がん予防の点では保険適用が拡大されたことは有益である。

町長 平成26年度は、3パーセントで県平均より少し高くなっている。適用が拡大されたことをどのように評価しているか。

問 胃がん検診の受診率は。本町における胃がんの死亡率は。

町長 平成26年度は、がんによる死亡は65人その内胃がんは5人であった。

問

町長

は。

問

町長

は。

検討していく課題であると考へるが、尿検査で実施できるのであれば、すぐにでも実施できる。

今後、機構的な取り組みや研究の状況をみながら、

は尿による検査はできないと聞いて

いる。町が少しずつ増えているが、佐用町の小中学校で行っている検査機関で

▲ AEDが設置された駐在所



問 AEDの適正配置で住民に安心感をもたらす件数は。

町長 心臓に問題があり過去3年間で心臓に問題があり救急搬送された件数は。

町長 心肺停止者の内、一般町民により応急手当が行われたのは23件で、AEDが使用されたのは2件であった。

問 公共施設に設置してあるAEDを、閉院時でも自由に取り出す設置方法は、考えられないか。

町長 地域貢献につながることは間違いないが、人の多く集まる場所に設置し適切な管理をしていく。

町長 公共施設には46カ所に設置しているが、屋外に設置するには、多額の費用がかかる。

町長 全駐在所に設置することは、地域住民に安心感を与えると考えられるがどうか。

地方創生・地域課題の取り組みは



いしぐろ ながよし
石黒 永剛 議員

ひと・まち・自然 未
来へつなぐ「共生の郷」
を目指した取り組みを進
めている。

町長——地域づくり総合戦略に4つの目標設定

問 死語となりつつある
公徳心や社会規範の中で
地域創生事業活性化がス
タートし、今、自治体が
知恵を絞っている。地域
活性化の動きはそこに住
む人たちの地域への熱い
思い、つまりは地元愛が

学習)をもつて共生社会での人間としての生き方を家庭・学校・社会の教育に学ぶことによって、「公徳心・社会規範」を持つ人間像が描かれた。これらを基に以下の質問をする。

し対応しているが全
て取り組んでいる。
会教育は生涯学習課
題として、プロジェクト
を立ち上げ、計画
に取り組んでいる。
心や社会規範に対し
問
失われつつある。

。社 庁あ
が担 チー
策定 てど
公徳 し未来を切り拓くことだが
町長 地方創生事業と考える
略に基本目標を定め、佐
大切なことは人づくりで
ある。失われつつある公
徳心や社会規範について
どう考へているか。

活動を支えている。

しかし、戦後、新しい日本を築き上げるために、公民館の設置が提唱された。昭和24年社会教育法が制定され、行政は、「人を大切にする」生涯学習の場づくり、国民一人一人が自己研鑽（自己活動）を支えている。

明日の佐用町創生には、郷土愛。豊かな地域「ミコ」二ティ創生には、知識と意欲を持つ有能な人材が必要である。町行政としてその使命を担うべき部局はどうじか。

う取り組もうとしているのか、その具体策は町長子育て支援センターなどで乳幼児の家庭や保育所での研修、での道徳教育、PTAにおいて取り組んでいく地域が、特性を

。いる
用の資源を活かし、まち
の賑わいや仕事をつくる。
佐用の魅力を磨き、新た
な人の流れをつくる。佐
用の若者が結婚・子育て
したい環境をつくる。安
全、安心、快適な生活を
守る。以上4つの目標を
設定し、「絆できりぬく

A black and white photograph capturing a dense field of flowers, possibly Erythronium, in full bloom. The flowers have distinct, star-shaped petals with prominent stamens extending from the center. The plants are surrounded by long, blade-like leaves. In the bottom right corner, a circular inset provides a detailed, close-up view of a single flower, highlighting its intricate structure and texture.

▲地域ぐるみで守る「カタクリ」の群生

委員会報告

災害復旧完了 特別委員会廃止



2月16日、委員会研修で県土木事務所職員から復旧状況の説明を受ける委員（役場裏のリバーオークリングコース）

2月16日、光都土木事務所事務所・河川復興室岩谷室長等を招き、県の災害復旧工事の状況について現地視察を実施しました。

この特別委員会は、台風9号災害からの復旧・復興をめざして平成22年5月に設置したもので、町事業の監視と復興への調査研究を続けてきました。その後、特別委員会で存続について協議した結果、平成27年度末をもって県事業の完了が見込まれることから、特別委員会廃止の意見が出され、3月議会最終日に委員長提案の廃止決議が議決されました。

委員長 竹内日出夫
台風9号災害復旧・復興対策特別委員会

統合校 子どもたち元気に活動

学校・保育園規模適正化調査特別委員会
委員長 廣利一志

成30年度に懇談会を立ち上げ協議することを決定。
●三河小学校

2月23日、役場議場において特別委員会を開催し、教育委員会及び健康福祉課から現在の進捗状況と今後の取り組みについて説明を受けました。教育委員会からは、統合後の子どもたちは、子ども同士刺激を受け合い、元気に活動しているとの様子が報告されました。

また、特別委員会の存続について協議した結果、当面動きがないことから廃止案が提案され、3月議会で採決の結果賛成多数により議決しました。

区議員会（平成25年8月29日開催）において、3～5年後（平成29～31年度）に委員会を立ち上げ（アンケート実施）協議することを決定。

●利神小学校
各学校・保育園の今後の予定は次のとおりです。
区議員会（平成26年2月20日開催）において、平成28年度の新園舎完成を目指す。
●三河保育園
現在、委員会は休止中。

●三河小学校
規模適正化三河小学校
（平成25年8月29日開催）において、3～5年後（平成29～31年度）に委員会を立ち上げ（アンケート実施）協議することを決定。

私は「賛成」します

石堂 基 議員

この特別委員会の役割は、町が適正な計画推進を進めることを調査するものであり、それぞれの地域での統合完了を受けて一定の役割を終えている。今後は平成29・30年の時期に改めて地域協議が予定される利神や三河での計画について、必要に応じて調査再開すべきであり、今委員会の廃止に賛成である。

廃止する決議

結果 賛成多數 可決

議員発議で賛否

学校・保育園規模適正化調査特別委員会を

私は「反対」します

金谷 英志 議員

三河小学校と利神小学校がまだ適正化の必要性について協議途中だ。そして、中学校の統合の必要性についてはほとんど議論されていない。

学校統合を考える上で、教育的見地からみると同時に、地域のより所としての役割も考える必要があり、学校跡地活用についても当委員会で協議すべきだ。これらは教育委員会、当局とは別に議会としての調査が必要で、役割が終えたとは言えない。

組合議会報告

播磨高原 広域事務組合

組合議会議員 千種和英

第1回定例議会 (2/22)

先端科学技術支援センターにおいて、定例会が開催されました。行政不服審査会条例をはじめ7件の条例制定と、平成28年度の当初予算、平成27年度補正予算、平成28年度当初予算を審議し、全て原案のとおり可決されました。

案件を審議し、すべて原案の通り可決されました。平成28年度の一般会計予算額は4億9480万円で、上水道会計は5億円で、下水道会計は3億37372万円です。

また定例会に先立ち新都市協議会が開催され、県企業庁から拠点施設（道の駅）の整備や、サッカーフィールド増設等の事業計画の報告がありました。

また、公平委員の選任では佐用町の山根勝博氏が選任されました。

改正 ■職員の勤務時間、休日、休暇等に関する改正
■人事行政の運営等の状況の公表に関する改正
■行政手続き条例の一部

播磨高原広域事務組合研修

(2/26・27 佐賀県他) 組合議会議員 千種和英

1月26日～27日、佐賀県鳥栖市・福岡県宗像市を視察しました。九州を襲った降雪により行程の変更はありました。鳥栖市では、西播磨と同様のテクノポリス計画を基にした科学公園都市政策、特に企業誘致について、また駅前地域振興策としての取り組みである、スタジアムの建設・運営や、Jリーグのチーム誘致。宗像市では、地元農産物や海産物を扱い、年間集客80万人以上、売上額18億円を超える道の駅の運営について研修しました。今後の播磨科学公園都市の発展に役立てていきます。

にしはりま環境組合

組合議会議員 加古原瑞樹

第29定例議会 (2/16)

にしはりまクリーンセンターにおいて、定例会議が開催されました。

定例会では、平成27年度補正予算、平成28年度当初予算を審議し、全て原案のとおり可決されました。

今回の定例会では、平成28年度消防組合一般会議が開催されました。

平成27年度補正予算額は4847万円を減額し、平成28年度当初予算額を8億4910万円に、平成28年度当初予算額は12億5881万円となり前年度より3億6124万円の増となりました。

(主な条例改正)
■行政不服審査法の施行に関する改正
■人事行政の運営等の状況の公表に関する改正
■行政手続き条例の一部

西はりま消防組合

組合議会議員 石堂 基

第1回定例議会 (2/25)

西はりま消防組合（たつの市揖保川町）において、本年第1回定例議会が開催されました。

今回の定例会では、平成28年度消防組合一般会議が開催されました。

平成27年度補正予算額は減額とともに27年度補正予算、条例改正11件について審議され、全ての議案が原案のとおり可決されました。

(主な条例改正)
■職員の勤務時間、休日、休暇等に関する改正
■情報公開条例及び個人情報保護に関する改正
■職員の給与及び旅費支給に関する改正

西はりま消防組合・行政調査

(2/8・9 三重県) 組合議会議員 石堂 基



▲西はりま消防組合と同型の高機能消防司令センター（知多広域指令センター）

- 調査場所 愛知県知多広域消防司令センター
三重県津市消防本部
- 調査員 西はりま消防組合議会議員全員10人
管理者（構成市町長5人）
- 調査目的 知多広域消防司令センターにおける高機能消防司令センター整備内容
三重県津市消防本部における通信指令システムの運用及び通信指令員の勤務体制

議会広報研究会

(1/29 神戸市) 議会広報特別委員長 岡本安夫

兵庫県町議会議長会主催の広報研究会を「『地方創生は』議会広報紙から！！」と題しての講演とクリニックを熊本大学客員教授の越路真一郎氏より受けました。

佐用町の「議会だより」は読みやすく視覚的な工夫も見られるなどの高い評価をもらいました。

今こそ議会広報の出番だから、町の広報紙とは違った視点からわが町を知ってもらうように「何に」

について「何を」伝えたいか。また「伝える」と「伝わる」は別であるから、書いた人でなく他人に分かるように書くことが肝心だと強調されました。

さらに、「議会だより」の存在感を発揮することが議員力のアップにつながると締めくくられました。

特集記事の演習では、町ごとにテーマを設けインタビュー記事やレイアウトなど紙面づくりを学びました。



▲特集記事演習の発表

6月定例会の予定

10日 (金)	9日 (木)	8日 (水)	7日 (火)
一般質問	一般質問	一般質問	本会議（議案上程）
22日 (水)	17日 (金)	15日 (水)	14日 (火)
本会議（討論・採決）	産業厚生常任委員会	総務常任委員会	本会議（質疑）

※一般質問の模様は佐用チャンネルで放映します。

議会運営委員研修会

(2/3神戸市) 議会運営委員長 矢内作夫

兵庫県町議会議長会主催の議会運営委員研修会に参加しました。講師は新潟県立大学の田口一博准教授。議事運営のノウハウをはじめ、地方創生の中で議員に求められる資質と議会活動の重要性を話されました。



まちの未来をいっしょに考えましょう

議会傍聴においてください

(3月定例会の傍聴者は延べ9人でした)

議会は、年4回の定例会（3月、6月、9月、12月）と、必要に応じて臨時会が開かれています。一般質問では、行政に対する疑問点や指摘事項を直接町長や教育長にただします。一般質問の模様はさようチャンネルでも放映しますが、間近で臨場感あふれるやりとりをご覧ください。

第4回議会報告会 ~ご案内~

「生の声」 お聞かせください

佐用町議会では、開かれた議会を目指して議会報告会を開催しています。

町民のみなさまに直接関係する事業や予算を、議会ではどのように審議し採決したかなど定例会の内容を報告するとともに、みなさまの「生の声」をお聞かせください。



ご都合のつく会場にお越しください

テーマ

- ## ①新年度事業と予算 ②意見交換会

5月12日（木）	5月13日（金）	5月14日（土）	5月18日（水）
<ul style="list-style-type: none"> ・幕山地区センター ・三日月文化センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・江川文化センター ・南光文化センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいの郷みうち 「若杉館」 ・三河ふれあいセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆう・あい・いしい ・中安ふれあいセンター
5月19日（木）	5月20日（金）	5月21日（土）	<p style="text-align: center;">各会場 午後7時から</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・佐用地域福祉センター ・上月文化会館 	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷地域交流センター ・久崎地区センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・さよう文化 情報センター 	

各会場
午後7時から

委員長 岡本 千種 和英 安夫
副委員長 委員長 委員長 委員長
委員長 委員長 委員長 委員長
委員長 委員長 委員長 委員長
委員長 委員長 委員長 委員長

議会広報特別委員会

にこやかな笑顔で楽し
そうに遊んでいるのは
東徳久集落に住む腰前鉢
花(りんか)ちゃんと腰前
前來羽(くれは)ちゃん。
まるで姉妹のよう。仲
良く遊ぶ二人は、家が隣
といふだけではなく、いと
こ同士。5力月先輩の
鈴花ちゃんは誰にでも優
しいお姉ちゃんのような
存在。

そんな鈴花ちゃんに誘

われ4月からママプラザに通つている來羽ちゃんは、元気いっぱい活発な女の子。二人のお母さんも姉妹の様に仲良く、何でも相談できる心強い味方。『いつまでも二人仲良く明るい子に育つてほしい』と願うお母さんたちの笑顔も子ども達同様に弾けた。なんばかりの笑顔でした。

会など新たな試みで議会が変わったと評価を得られた議員の任期も半分が過ぎました。

フレッシュなメンバーでの議会だよりは「読みやすく」「読みたくなるよう」）と一丸となつて取り組んできましたが、この委員での編集は今回で最後になりました。
感謝申し上げます。

岡本
安夫

講会だよりでは笑顔いっぱいの
子どもたちを紹介します

編集後記

